

メッセージ

広島と長崎に原爆が投下されてから74年を迎えようとしています。

月日の経過とともに、戦争体験者の高齢化が進み、被爆・戦争の悲惨さを継承していくことが困難となってきました。しかし、今を生きる私たちは、世界で唯一の被爆国として「核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ」を、次世代へ語り継いでいく使命があります。

交野市では、核兵器を持たない、戦争のない、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指し、1983年に非核平和都市を宣言、2001年には平和と人権を守る都市宣言を行いました。これらの宣言は、わたしたち交野市民一人ひとりの平和への強い願いであります。

さらに2010年には、核兵器のない平和な世界を実現するため、世界の都市と連携して国際社会にアピールする「平和首長会議」に加盟し、併せてヒロシマ・ナガサキ議定書への賛同署名もいたしました。

こうした強い願いにも関わらず、世界では未だに核兵器が存在し、近年の国際情勢においても米国での臨界前核実験の実施等、平和を脅かす事態が発生していることは大変遺憾なことでございます。

世界で唯一の被爆国として、人類永遠の平和を願い、同じ悲劇が二度と繰り返されることのないよう、私たちは、次世代を生きる子ども達のためにも、人類の共通の願いである反核・平和の実現に向けて国際社会に強くアピールしていく所存でございます。

「原水爆禁止2019年世界大会」の成功に向けての皆様方のご活躍に心から敬意を表しますとともに、非核・平和の輪が全世界に広がることを祈念いたしまして、わたくしのメッセージといたします。

2019年8月

交野市長 黒田 実